



西有家小学校だより 3号
校訓 (勤労・勉学・大志)
学校教育目標 明るく心の美しい子ども

令和6年 5月22日
南島原市立西有家小学校
TEL 73-6741
(文責 校長 大古場)



運動会へ向かって



さわやかな5月の風が吹く中でも、日中は気温が高くなり汗ばむ季節となりました。本日は、運動会の予行練習を実施しました。みんなが「仲間と力を合わせ 全力を出し切ろう」のスローガンのもと、懸命に練習に取り組みました。1年生の小学生としての運動会デビュー、6年生の小学校最後の運動会での勇姿、それぞれの学年のひと回り成長した活躍ぶりなど、みんなが全力でがんばっていてどの種目も本番がますます楽しみになりました。当日は、子どもたちへのあたたかいご声援や励ましをよろしくお願いします。

学校行事から学ぶもの

どこの学校でも実施されている「学校行事」は、5つの活動内容に分けられます。その5つは、①儀式的行事(入学式、始業式など) ②文化的行事(学習発表会、劇団鑑賞など) ③健康安全・体育的行事(避難訓練、運動会など) ④遠足・集団宿泊的行事(遠足、修学旅行など) ⑤勤労生産・奉仕的行事(大掃除、卒業式準備など)です。

目標は、「全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら『人間関係形成』『社会参画』『自己実現』の資質・能力を育成すること」です。毎年、これらの学校行事を通して、自己肯定感や友だちとの協調性を高め、成長していく子どもたちがたくさんいます。時数については、学年で異なりますが、発達段階に応じてそれぞれの行事のねらいが達成できるよう努めているところです。



その学校行事についてのお話です。大人になった人たちに、「小学校の時に一番思い出に残っていることは何ですか。」と聞くと、必ずといっていいほど「修学旅行」「運動会」「学習発表会」「宿泊学習」「遠足」などという答えが返ってきます。運動会や遠足は、上記のように「学校行事」という領域の学習で日々の教科の学習とは違う特徴をもっています。小学校生活6年間の中で一番多くの時間を費やしているのは、国語や算数といった教科学習の時間です。学校行事が占める割合は学年によっても異なりますが、時間数としては1割もありません。それなのに、なぜ大人になってからも心に残っているのでしょうか。

それは、学校行事が体験活動や集団活動を通して成就感や満足感、感動を与える活動だからです。子どもたちは、「感動体験・仲間体験・本物体験」を通して学校生活を楽しいと感じ、集団の一員として希望や目標をもって学校生活を送ること、他者と共生することなどについて思い、自己の生き方について考えていきます。学校行事には、それぞれにねらいがありますが、各行事を通して具体的に次のようなことを身に付けさせたいと思います。

- ① 希望や目標をもち、協力して楽しい学校生活をつくろうとする。
- ② 美しいものに感動し、自他のよさや生命を尊重する。
- ③ 規律や気品を身に付け、共に責任ある行動をする。
- ④ 自分の役割を自覚し、集団や他者のために役立とうとする。



5月26日の運動会に向けて「本気で一生懸命な取組や自分はやればできるという経験が自信に」そして、「上手いかなかった時、励ましてくれる友だちや先生がいる、自分は一人じゃないという実感が勇気になることを願い、全校一丸となって臨んでいきたいと思っています。本年度も半日開催となりますが、西有家小学校の子どもたちのがんばる姿をぜひご参観いただきますよう、よろしくお願いします。